

2019年度 事業報告

一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）は、現文部科学省の許可を得て、本年度82年目を迎えた（昭和30年2月1日社団法人として発足し、本年度64年目を迎えた。）。

有信会の事業としては、令和元年12月以降に中国を中心に発生した「新型コロナウイルス感染症」の影響により、令和2年2月25日のイベント開催の自粛検討の要請や学校の休校要請等が示された国の感染症対策の基本方針を受け、感染症拡大の防止及び感染リスクの減少のため、同年2月下旬から3月に開催予定の理事会及び八日会等を中止したが、それ以外の活動である、母校への支援、会員相互の情報交換、親睦、異業種交流及び地域社会への公益活動事業等は例年どおり行った。

1 母校への支援

母校及び在学生への支援を行った。

(1) 母校及び在学生への経済的支援等

令和元年5月19日（日）、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」の式典と講演会等を大学との共催により、母校831教室において行った。

講師 落語家 立川 生志氏（人文学部昭和61年卒）

演目 古典落語

落語家立川生志氏による古典落語は、ユーモア溢れる見事な語り口で会場は笑いに包まれた。

講演会後は、マンドリンクラブによる演奏、合気道愛好会や和太鼓部「鼓舞猿」による気合溢れるパフォーマンスの披露や抽選会があり、会場は大変盛り上がり、約350人が母校での1日を楽しんだ。会終了後には、中央図書館見学ツアーが行われ、参加者から大きく変わったキャンパス風景に驚きの声があがるとともに、旧校舎と学生時代の思い出話に花が咲いていた。

母校在学生の学友会活動の援助費として500万円の支援を行った。

(2) 在学生との懇談会を行った。

同年5月9日（木）、在学生の人材育成の取組みとして、産業界などで指導的役割を果たされている多くの先輩と有意義な情報交換の場となる「在学生との懇談会」を天神スカイホールにおいて行った。

講師 第一施設工業 取締役会長 篠原 統氏（経済学部昭和40年卒）

演題 「大きく変わるAI社会と人口減少社会の到来」

これから来るAI社会と人口減少社会の中で、求められる武器として、在校生に英語の他に第2外国語の学習が大切であるとエールを送り、在学生、大学来賓（役職者、部長、監督等）及び有信会会員（役員、招待者、一般会員）353人が熱心に聞き入った。

(3) 有信会奨学基金の奨学生採用式

有信会が、一般社団法人に移行する際に母校に贈った特定寄付金を原資とした「有信会奨学基金」（貸与型）の奨学生採用式が、令和元年7月8日（月）ヘリオス会館6階ギャラリーで行われた。採用式では、山口政俊学長から山口拓都さん（経済学部4年）をはじめ6名に奨学生証が授与され

た。川畑懿子名誉理事長他が列席した。

(4) 褒賞金の贈呈

国際大会に出場し優秀な成績を収めた、ハンドボール部1名、陸上部1名、体操部1名、女子バドミントン部1名、和太鼓部「鼓舞猿」、合わせて4名の在校生及び1団体に褒賞金を贈呈した。

(5) 就職支援ガイダンス等

在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校就職・進路支援センターの活動等に協力した。

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深める。また、地域福祉を含めた公益活動を実施した。

(1) 講演会の開催

令和元年6月29日(土)、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催当日、一般市民も参加可能な「公開講演会」を開催した。

講師 辛坊 治郎 氏

演題 「どうなる日本！？日本の進路を読み解く」

辛坊さんは年金問題や長寿社会などニュース・報道の舞台裏をユニークな視点で解説、軽妙な語り口で笑いを誘うなど会場を盛り上げた。来賓、会員及び一般市民を含めて約800人が熱心に聞き入った。

(2) 社会福祉活動

有信ゴルフ会は、同年10月4日(金)小郡カンツリー倶楽部においてチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金30万円を社会福祉法人岡垣睦福社会 指定障がい者支援施設「こすもす園」(遠賀郡岡垣町)に寄贈した。

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

(1) 会員大会

令和元年6月29日(土)、ホテルニューオータニ博多において行った。

平成30年度事業報告及び決算報告を行い終了後、懇親会を開催した。

(2) レディースクラブのつどい

同年10月12日(土)、ホテル日航福岡において行った。

講師 福岡大学筑紫病院 病院長 柴田 陽三先生

演題 「五十肩ってなあに？ ほっておいたらよくなるの？」

五十肩の病気の起源や痛みのメカニズム、治療法などを丁寧に解説し、来賓、女性会員、在学女子学生ら76人の参加者は興味深く聞き入った。

(3) 新年賀詞交換会

令和2年1月9日(木)、TKP天神スカイホールにおいて行った。

朔啓二郎学長をはじめ母校役職者等を招き、新春を祝う恒例の事業で、199人が集った。

(4) 有信八日会

会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年間8回開催した。

通常例会は、6回(4月、7月、9月、10月、11月及び2月)、8月大交流会及び忘年八日会12

月と併せて年間参加者数は、延べ 639 人であった。

なお、3 月に開催予定の八日会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため中止した。

開催年月日	卓話講師	演題
平成 31 年 4 月 8 日	九州経済産業局局長 塩田 康一 氏	九州の持続的発展に向けて
令和元年 7 月 8 日	福岡大学スポーツ科学部教授 築山 泰典 氏	スポーツ科学でなぜキャンプ？
〃 8 月 3 日	株式会社西部技研代表取締役社長 隈 扶三郎 氏	100 年企業を目指して
〃 9 月 9 日	福岡大学医学部長 朔 啓二郎 氏	人生 100 年時代と福岡大学
〃 10 月 8 日	福岡大学人文学部教授 梶原 良則 氏	明治維新と近代兵器
〃 11 月 7 日	福岡大学学生部長 永星 浩一 氏	情報化社会と大学生
令和 2 年 2 月 10 日	福岡大学薬学部長 三島 健一 氏	国内外における大麻使用の現状
〃 3 月 9 日 (中止)	福岡大学法学部長 山下 恭弘 氏	法学部よもやま話

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努めた。

(1) 理事会等

平成 31 年 4 月 24 日（水）、令和元年 6 月 5 日（水）、6 月 29 日（土）、7 月 18 日（木）、12 月 5 日（木）の計 5 回開催し、令和 2 年 2 月 28 日（金）に開催を予定していた第 6 回理事会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため開催を中止した。開催中止に伴い、全理事に対し書面による議題の同意を依頼し、決議された。また、同年 3 月には、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから執行部役員会を開催し、6 月までの事業等を中止することとし、臨時理事会に提案するとした。臨時理事会は、第 6 回理事会と同様に、書面による同意を依頼し、決議された。なお、理事会では関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努めた。

(2) 定時代議員総会

前記のとおり、令和元年 6 月 29 日（土）、ホテルニューオータニ博多において行った。
理事・監事選任、平成 30 年度事業報告、決算書類等の審議を行った。

(3) 地域・職域支部長会

上記同日、ホテルニューオータニ博多において行った。

(4) 各委員会

有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催した。

(5) 母校福岡大学との連絡会議

母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行うと共に、同年12月5日(木)、大学役職者と有信会役職者との連絡協議会を開催した。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信した。

(1) 広報紙「有信」

発行年月	号数	様式	ページ数	印刷部数
令和元年 8月	157号	全頁カラー	16	159,500
令和2年 3月	158号	全頁カラー	16	90,000

但し、終身会費未納(一部未納を含む。)の会員には、8月発行分のみ発送。

(2) ホームページ

平成31年4月にリニューアルしたホームページの内容の更新に努め、会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の顕著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努めた。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努めた。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しのための検討を行い改善した。

6 組織の活性化

有信会を支える地域支部62、職域支部38、各学部同窓会、学年別同窓会及び学友会OB会が、各々の趣向で支部総会等を通して絆を深めた。

組織の活性化に関する各支部共通の課題は、(1)若年同窓生及び女性会員の参加を増やす日々の努力が必要、(2)資金確保等々であった。

地域支部においても各学部同窓会等と相互に連携することにより、若年層及び女性会員が参加しやすい企画をすると共に、異業種間の交流の促進を図る必要がある。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員の住所データや近況情報の更新等のため、日々地道な調査を続けている。特に住所変更調査は、個人情報保護法の施行に伴い、同窓会名簿の追跡調査に支障をきたすケースも増大している。

広報紙「有信」等発送後、宛先不明として返送された会員について追跡調査をしているが、判明率は芳しくない。会員の個人情報に関する情報収集・変更・管理・保全等に関して法令順守に努めた。

8 財政基盤の強化

(1) 終身会費徴収の徹底

終身会費未納の卒業生に対し、8月発行の「有信」に会費納入依頼書を同封し、督促を行った。

(2) 経費節減の努力

会議や集会の通知等に郵送だけでなく、メールやFAX等を活用し、郵送費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努めた。

2019年度 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増 減 (A)-(B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	182,020,218	167,550,427	14,469,791
預り金預金	85,488	253,899	-168,411
流動資産合計	182,105,706	167,804,326	14,301,380
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金資産	300,000	300,000	0
基本財産合計	300,000	300,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,906,000	4,543,000	363,000
特定資産合計	4,906,000	4,543,000	363,000
(3) その他固定資産			
事業積立金 I	285,000,000	260,000,000	25,000,000
什器備品	225,888	198,701	27,187
その他固定資産合計	285,225,888	260,198,701	25,027,187
固定資産合計	290,431,888	265,041,701	25,390,187
資産合計	472,537,594	432,846,027	39,691,567
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	99,352,500	101,662,500	-2,310,000
預り金	85,488	253,899	-168,411
流動負債合計	99,437,988	101,916,399	-2,478,411
2. 固定負債			
前受会費	102,375,000	100,417,500	1,957,500
退職給付引当金	4,906,000	4,543,000	363,000
固定負債合計	107,281,000	104,960,500	2,320,500
負債合計	206,718,988	206,876,899	-157,911
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	300,000	300,000	0
(うち基本財産への充当額)	(300,000)	(300,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,906,000)	(4,543,000)	(363,000)
正味財産合計	265,818,606	225,969,128	39,849,478
負債及び正味財産合計	472,537,594	432,846,027	39,691,567

2019年度 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増 減 (A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
財産運用収益	65,815	85,198	-19,383
受取会費収益	138,155,000	140,122,500	-1,967,500
受取会費収益(1)	(134,475,000)	(135,615,000)	(-1,140,000)
受取会費収益(2)	(3,680,000)	(4,507,500)	(-827,500)
受取負担金収益	3,287,000	4,764,000	-1,477,000
有信共益事業収益	4,776,070	4,598,270	177,800
有信八日会収益	(3,057,000)	(2,796,000)	(261,000)
有信ゴルフ会収益	(1,719,070)	(1,802,270)	(-83,200)
雑 収 益	46,000	50,000	-4,000
経常収益計	146,329,885	149,619,968	-3,290,083
(2) 経常費用			
事業 費	74,862,029	76,655,699	-1,793,670
母校援助費	18,764,634	18,827,640	-63,006
広報誌発行費	25,431,762	25,597,397	-165,635
IT事業費	3,450,096	2,817,776	632,320
会員大会費	5,863,599	5,435,985	427,614
レディースクラブ総会費	1,298,935	994,581	304,354
講演会費	2,367,233	6,356,596	-3,989,363
新年賀詞交換会費	1,079,543	1,163,837	-84,294
支部援助費	11,793,479	10,961,375	832,104
有信共益事業費	4,812,748	4,500,512	312,236
有信八日会支出	(3,045,428)	(2,672,352)	(373,076)
有信ゴルフ会支出	(1,767,320)	(1,828,160)	(-60,840)
管 理 費	31,618,378	31,137,667	480,711
給料手当費	13,636,004	14,347,122	-711,118
福利厚生費	2,052,822	1,895,159	157,663
会 議 費	3,251,575	3,132,340	119,235
旅 費 交 通 費	2,842,560	2,491,710	350,850

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増 減 (A)-(B)
通 信 運 搬 費	1,022,466	1,013,538	8,928
消 耗 品 費	697,316	400,421	296,895
印 刷 製 本 費	1,992,739	1,994,819	-2,080
賃 借 料 費	834,387	834,167	220
光 熱 費	202,164	169,472	32,692
支 払 手 数 料 費	172,970	149,027	23,943
公 租 公 課	60,063	62,571	-2,508
雑 費	3,837,699	3,534,497	303,202
退 職 給 付 費 用	880,000	877,000	3,000
減 価 償 却 費	135,613	235,824	-100,211
什 器 備 品 除 却 損	0	0	0
經常費用計	106,480,407	107,793,366	-1,312,959
当期經常増減額	39,849,478	41,826,602	-1,977,124
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	39,849,478	41,826,602	-1,977,124
一般正味財産期首残高	225,669,128	183,842,526	41,826,602
一般正味財産期末残高	265,518,606	225,669,128	39,849,478
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000	300,000	0
指定正味財産期末残高	300,000	300,000	0
III 正味財産期末残高	265,818,606	225,969,128	39,849,478

2019年度 収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

単位:円

科 目	予算額(A)	決算額	増減(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 財産運用収入			
財産運用収入	71,000	65,815	5,185
② 会費収入			
会費収入(1)	134,445,000	134,475,000	-30,000
会費収入(2)	4,000,000	3,680,000	320,000
③ 負担金収入	3,780,000	3,287,000	493,000
④ 有信共益事業収入			
有信八日会収入	3,860,000	3,057,000	803,000
有信ゴルフ会収入	1,950,000	1,719,070	230,930
⑤ 雑収入	35,000	46,000	-11,000
事業活動収入計	148,141,000	146,329,885	1,811,115
2 事業活動支出			
① 事業費支出			
母校援助費支出	20,000,000	18,764,634	1,235,366
広報紙発行費支出	27,000,000	25,431,762	1,568,238
I T事業費支出	5,000,000	3,450,096	1,549,904
会員大会費支出	6,063,000	5,863,599	199,401
レディースクラブ総会支出	1,500,000	1,298,935	201,065
講演会費支出	2,956,000	2,367,233	588,767
新年賀詞交換会支出	1,662,000	1,079,543	582,457
支部援助費支出	14,380,000	11,793,479	2,586,521
有信共益事業支出			
有信八日会支出	3,860,000	3,045,428	814,572
有信ゴルフ会支出	1,950,000	1,767,320	182,680
事業費支出計	84,371,000	74,862,029	9,508,971
② 管理費支出			
給料手当支出	14,300,000	13,636,004	663,996
福利厚生費支出	2,310,000	2,052,822	257,178
退職金支出	517,000	517,000	0
会議費支出	2,985,000	3,251,575	-266,575
旅費交通費支出	2,770,000	2,842,560	-72,560
通信運搬費支出	1,325,000	1,022,466	302,534
消耗品費支出	760,000	697,316	62,684
印刷製本費支出	2,683,000	1,992,739	690,261
賃借料支出	840,000	834,387	5,613

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額	増減(A)-(B)
光熱費支出	200,000	202,164	-2,164
支払手数料支出	250,000	172,970	77,030
公租公課	70,000	60,063	9,937
雑費支出	4,300,000	3,837,699	462,301
管理費支出計	33,310,000	31,119,765	2,190,235
事業活動支出計	117,681,000	105,981,794	11,699,206
事業活動収支差額	30,460,000	40,348,091	-9,888,091
Ⅱ 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 退職給付引当預金取崩収入	259,000	259,000	0
投資活動収入計	259,000	259,000	0
2 投資活動支出			
① 特定資産引当資産支出			
退職給付引当預金支出	600,000	622,000	-22,000
② 固定資産取得支出			
事業積立金Ⅰ繰入支出	25,000,000	25,000,000	0
什器備品取得支出	500,000	162,800	337,200
投資活動支出計	26,100,000	25,784,800	315,200
投資活動収支差額	-25,841,000	-25,525,800	-315,200
Ⅲ 財務活動収支の部			
1 その他の収入			
前受会費収入	101,865,000	101,310,000	555,000
その他の収入計	101,865,000	101,310,000	555,000
2 収入調整勘定支出			
前受会費調整支出	101,662,000	101,662,500	-500
収入調整勘定支出計	101,662,000	101,662,500	-500
財務活動収支差額	203,000	-352,500	555,500
Ⅳ 予備費支出	3,000,000	0	3,000,000
当期収支差額	1,822,000	14,469,791	-12,647,791
前期繰越収支差額	165,681,000	167,550,427	-1,869,427
次期繰越収支差額	167,503,000	182,020,218	-14,517,218